

# DOKU-GAKU **勝手に**チョイス!!

## 伊坂幸太郎映画化作品

### 経歴 (Wikipedia より)

千葉県松戸市出身。千葉県立小金高等学校、東北大学法学部卒業後、システムエンジニアとして働かたわら文学賞に応募、2000年『オーデュボンの祈り』で新潮ミステリー倶楽部賞を受賞しデビュー。その後作家専業となる。2002年の『ラッシュライフ』で注目され始め、直木賞候補になった2003年の『重力ピエロ』で一般読者に広く認知されるようになった。それに続く『アヒルと鴨とコインロッカー』で第25回吉川英治文学新人賞を受賞した。ミステリ作家と紹介されることもあるが、その枠に留まらずエンターテインメント性豊かな作品を発表し若い世代を中心に支持を集めている。2003年『重力ピエロ』、2004年『チルドレン』『グラスホッパー』、2005年『死神の精度』、2006年『砂漠』で直木賞候補となる。また本屋大賞において唯一第1回から第4回まですべてにノミネートされ、2008年の第5回に『ゴールデンスランバー』で同賞を受賞した。同作品で第21回山本周五郎賞も受賞した。なお同作で直木賞の選考対象となることを「執筆に専念する」ことを理由に辞退している。

### かずくん

知らない間に映画化された伊坂作品をけっこうたくさん観ていた（^^）一番最近観たのは「**ゴールデンスランバー**」。面白かった。いい具合に騙してくれて、最後まで「これってどうなるの?」と思いつつながら、終わってみたら「ほお〜!」という感じ。時間が行ったりきたりしながら最後にはあっちの話とこっちの話がぴたりとはまり、言葉のひとつひとつに伏線がある。ラストはどんでん返しというか、「うまく裏切られたな」という苦笑いが残る。ビートルズのカバー曲である主題歌「ゴールデンスランバー」、エンディングテーマ「幸福な朝食 退屈な夕食」共に斉藤和義が歌い、映画ととても合っていたと思う。原作は読んでいないが文庫になったらぜひ読んでみたいと思っている。



「**陽気なギャングが地球を回す**」「**フィッシュストーリー**」は共に時間が行ったりきたりするお話。話がぴたりとはまって面白い。「**重力ピエロ**」はラストはちょっとショックだったけれど人間の面白さがうまく描かれていたと思う。「**アヒルと鴨とコインロッカー**」も最後に思わず納得する苦笑いが残る作品。「**ラッシュライフ**」は唯一本を読んで映画を観ていない作品。メインの人物の時間軸がずれていてちょっととまどうが読んでいると面白い。時間の繋がりを納得しながら読める。今度はこの映画化作品が観たい。

## うさお 「ラッシュライフ」

5つの話が同時並行する筋立てで、よおく読んで見ると、一人称形式の話の区別は、章建てに記されたアイコンでしているらしい。そんなところが凝っている割にその効果があまりなく、本半ばにしてようやく気がついた。申し訳ない。登場人物は、伊坂幸太郎の作品群に出てくるお馴染みの登場人物なんだとか。白戸三平の作品も毎回同じ人物が登場し、狂言回しをしているがそんな感じなのかもしれない。多少オカルチックな描写があるので、その手の話かと思ったがそうではなかった。あっ、そう書くとネタばれになるか。

最後までするすると読めたが、結末が弱い。何か中途半端。

この本は映画にもなったのかな？落ちはどう付けたんだろう？2時間で読めちゃうので時間つぶしの本としては面白いね。でも、余り感動はしないなあ。「ペイフォワード」みたいに泣かせる奴が読みたいね。そういえば、ユナ・サーマンがシェイプアップして「キルビル3」をやるらしい。こちらのほうが期待感が高まっちゃうな。



## TICA 「終末のフール」(DG59号より再録)

さて今回のチョイスは去年直木賞の選考を辞退して話題になった伊坂幸太郎。最初に軽くて読みやすい『死神の精度』から入り、続いて『重力ピエロ』『魔王』を読んだら読む力がないとついていけなくなりしばらく遠ざかっていた。

この本は各章でそれぞれの生活が書かれ登場人物がリンクしていく『死神の精度』と同じタイプ。

地球滅亡の発表から5年が経ち、パニックが一段落した残された3年間のうちの風の時代。そこには騒々しさやパニックもののどきどきもなく、ヒーローもいない。どうにか日常を取り戻した実に地味でひっそりとした生活を営む人たちが描かれている。

ずっと望んでいた子供がやっと出来たが地球の滅亡により3才で死ぬことになるのに産むべきかと悩む夫婦と進行性の病を持つ子供を残して死ななくてすむことを喜ぶ友人「太陽のシール」。残された時間をひたすらボクシングに打ち込む青年「鋼鉄のウール」。自殺した両親が遺した本三千冊弱を4年かけて読み終えたところから始まる「冬眠のガール」。5年前に貸し出したままのビデオを回収に行く「深海のポール」…。

明日死ぬかもしれない今日と、3年後には必ず死ぬ今日の違い。どの話もとても面白く読みました。

<明日死ぬとしたら生き方が変わるんですか？>

<あなたの今の生き方は、どれくらい生きるつもりでの生き方なんですか？>

## 004 TICA

作品	著者	あらすじ・コメント
カッコウの卵は誰のもの	東野圭吾	<p>【スキーの元日本代表・緋田には、同じくスキーヤーの娘・風美がいる。母親の智代は、風美が2歳になる前に自殺していた。緋田は、智代の遺品から流産の事実を知る。では、風美の出生は? そんな中緋田父子の遺伝子についてスポーツ医学的研究の要請が…。さらに、風美の競技出場を妨害する脅迫状が届く。複雑にもつれた殺意】</p> <p>ちょうど冬季五輪が始まったときに読み始めた。ナイス、ナイスタイミング♪</p>
世界音痴 によっ記 現実入門	穂村弘	<p>【人生の本番はいつからだろうと考えている 30 代後半、独身。総務課長代理にして歌人穂村弘のエッセイ】</p> <p>経験をしていないことを書きだし自分の経験値なるものを知る。献血、合コン、部屋探しなど経験していなくてもよさそうなものを編集者と著者が体験していく。</p> <p>私が経験していないことを書きだしたらノートに何枚くらいになるんだろう。…何冊にもなったりして^_^;</p> <p>みんなが普通にやっていることが苦手で、普通に自然にすることが出来ないことを世界音痴と名付けた。それなら私も日本音痴くらいにはなりそう。著者は部屋の窓を開けるという発想が15年もなかったという。この辺が世界と日本の違いか。</p> <p>それって自然にわかることじゃないの?と思うことは結構ある。姉はオトナになったあるときに「片方の鼻をおさえて鼻をかむやりかたを知らなかった」と言った。なんの疑問も持たずに過ごしてきたことって自分にもたくさんあるのかも。単にそれを発見できるチャンスがなかったってだけのことも。</p> <p>「世界音痴」「によっ記」「現実入門」と3冊続けて読んだが、空想の話より世界とちょっとだけずれている現実のお話のほうが好き。この人の魅力は、人を安心させる日常にあるのにウソ日記じゃ意味がないじゃないの。</p>
南町同心 早瀬惣十郎 捕物控 鬼心	千野隆司	<p>【おあきは、浅草御門の近くで、顔見知りの和泉屋の女房・お光が駕籠ごとさらわれ、それを追いかけてしようとした岡っ引きも下手人の一人に、刺殺されるのを目撃してしまう。おあきは雪が降りしきる中、身重の体でありながら、駕籠を追うが、実はこのかどわかしは、お光の旦那・市之助がからんでいたのだった…。苛酷な運命の中で「鬼心」を宿してしまった男たちの悲哀と、家族の強い絆を描く、南町同心早瀬惣十郎捕物控シリーズ第三弾】</p>

<p>小耳にはさもう ベストオブ 100</p>	<p>ナンシー 関</p>	<p>【長嶋一茂、山本リンダ、中村玉緒に悪魔のお父さん、橋田寿賀子からビートたけしに至るまで、有名人のうっかりひと言に隠されたホンネのホンネを読む痛快エッセー。全員の似顔消しゴム版画つき】 殆ど悪口。でもきつと嫌われない人だと思う。昔トヨエツのことを好きになったのは若気の至りだと恥じるころは、名前を変えれば気持ちはわかる。</p>
<p>まねき通り 十二景</p>	<p>山本一力</p>	<p>【この町の賑わいは、家族のあたたかさ。鰻に豆腐に青物、履き物に雨具、一膳飯屋、駕籠宿、さまざまな店が連なるお江戸深川冬木町、巡る十二か月の笑いと涙を描く著者真骨頂の人情物語】</p>
<p>パンドラの火花</p>	<p>黒武洋</p>	<p>【死刑制度廃止。そのとき、政府が扱いあぐねたのは、すでに判決が確定していた死刑囚たちだったが……。十六歳で家族六人をみな殺しにした横尾友也も、今や五十代の死刑囚。彼に更生の余地ありとする政府は、刑の執行停止を交換条件に、昔の自分を説得して、その凶行を未然に防ぐことを命じた。果たして、罪とは償えるものなのか？ 罪と罰の根源を問うクライム・サスペンス】 『そして肅清の扉を』が面白かったのでこの人の本を探していたが、この本しか見つからなかった。ブックオフではなかなか置いてない。</p>
<p>悪魔が殺せと ささやいた</p>	<p>「新潮4 5」編集部</p>	<p>【澱のように沈殿する憎悪、嫉妬、そして虚無感——。誰にも覚えのある感情が、なぜ黒い殺意に変わるのか。日常のなかで突然襲い来るその瞬間、血のつながった家族、愛した人、通りすがりの名も知らぬ者を殺めるまでに、人を駆り立てるものは何か。虚飾、自己愛、そして妄想……いびつで残酷な人間の本性に迫り、殺人事件の真相を暴く、ノンフィクション集。好評シリーズ第五弾】 セレブ妻カオリンはいまだ健在のようです。</p>



今年は国民読書年だそうで。国民に図書カードを配るとか、本の値段を一割引にするとか…  
してくれるわけでもなく、どの辺が国民の読書年なのでしょう。



## 001 健

No.	読書日 2009年	タイトル	著者 出版	表紙	コメント	評価
1	0917- 0917	夜明けの街で	東野圭吾 角川グループパ ブリッシング 1,680円 横浜中央 図書館		横浜ベイブリッジが表紙絵になっているように地元横浜の描写が多い。 不倫を毛嫌いしていた男が若い派遣の独身女性と不倫にのめり込んで行くストーリー。彼女は大富豪の娘であり過去に殺人事件に関わる秘密を持っていた。不倫に溺れる中年男の描写はよく書かれているがありきたりで安っぽく主人公二人に好感が持てない。ミステリー色も薄く東野圭吾にしてはワースト作品。恋愛の結末にしても、殺人事件の顛末にしても意外性が無い。	
2	0918- 0919	山崎豊子 自作 を語る1 作家の使命 私の戦後	山崎豊子 新潮社 1,470円		山崎豊子の作家生活50年を記念して、これまで書かれた小説以外のエッセイやインタビューを集めて刊行された「自作を語る」シリーズ全3巻。1巻目は長編作家として知られる著者が、生い立ち、戦争によって失ったもの、戦後の自分の生きる道について語り、『不毛地帯』、『二つの祖国』、『大地の子』、『沈まぬ太陽』、最新作『運命の人』の取材秘話などについて記述している。『不毛地帯』の中では、ロッキード事件を思わせる事件が書かれているが、実際は小説の方が先で、著者の取材・分析力の力量が再確認される。 『沈まぬ太陽』も随分前に書かれたものでモデルは日本航空。その経営体質を古くから問われていたことになり天下り・裏金作りの根絶の難しさを思い知らされる。フジテレビの「不毛地帯」はキャストも内容も良いしストーリー展開のテンポが良いのに視聴率が悪いのが信じられない。商社・ビジネスといった男性向きのテーマが硬すぎるからか？只このドラマにでてくる女性陣はそれぞれの個性と魅力があり女性が観ても面白いと思う。 改めてこのシリーズを読むと歴史家や政治家が出来なかったあるいは放置した事実の発掘を徹底した取材で行っている。それらの事実は日本人が受け止め後世に残していかなければならぬものとしての著者の使命感が伝わってくる。	






3	0922-0924	山崎豊子 自作 を語る2 大阪尽くし 私の産声	山崎豊子 新潮社 1,470 円		2 巻目は『白い巨塔』、『華麗なる一族』などについて記述があり、出身地である、大阪の文化についてのエッセイが盛り込まれている。内容は著者が様々な場所に発表した短文集。50年のスパンがあるので被っている記述も多々見られるが著者が前振りで言っているようにちょっとした記述の違いを纏めて読むことでより深く理解できるのではと言いつつしている。一番古いものでは1957年発表のものが多いが1980年代以降のもの、1950年代もしくは、もっと昔を振り返ったものも書かれている。	
4	0925-0930	山崎豊子 自作 を語る3 小説ほど 面白い ものはない	山崎豊子 新潮社 1,470 円		3巻目は松本清張、城山三郎といった巨匠との対談が収録されている。若かりし頃の著者が文学について熱く語り合う様子は、作品に対する情熱、執念の凄まじさを感じられる。また興味を引けば金融、医療、鉄鋼といった未知の専門分野へも首を突っ込み、執拗に取材を行う。文章にしてみれば、たった数行の表現にリアリティを持たせるため海外取材を繰り返す、莫大な取材費をかける。それだけの時間、お金、労力をかけた取材でも実際の文章になるのはわずか。本当に職人気質の作家だと言える。	
5	1001-1004	まねき通り 十二景	山本一力 中央公論新社 1,575 円 (古書 750 円)		深川まねき通りに店を構える人々に起こる出来事を正月、ひな祭り、七夕など季節にからめて 12 ヶ月・12景を章立てにした連作短編集。 山本作品という骨太な感じのものが多いがこの作品は軽いタッチの市井ものになっている。短いので読みやすく登場人物が適当に被って出てくるのが愛着を増す効果になっている。	
6	1005-1005	カッコウの卵は 誰のもの	東野圭吾 光文社 1,680 円		それぞれスポーツの特性に合ったDNAを持つ人を探し育成するプロジェクト、アルペンやクロスカントリーなど、スキーをメインにしたスポーツの話が出てくるのでバンクーバーオリンピックに合わせての刊行かなとも思った。内容はスキーの天才と評価される父と娘のDNA調査の要請がくるが実は妻の死にからむ実の親子ではなかったことから事件が起こる。また優秀なDNAを持つ者が必ずしもそれを望まない苦悩も描かれている。最後はミステリーとして完結させるために手際良く纏めたなという気がしないでもない。	

7	1005-1005	倚りかからず	茨木のり子 筑摩書房 1,890 円 (横浜市中央図書館)		以前から cacco さんに薦められていた金八先生のTVドラマを一気読みならぬ一気視聴をした。ドラマは8シリーズ作成されていてまとめて視ると時代の変遷、教育問題、解決のための教育理論などを取り込んでいるので興味を惹いた。本書は第8シリーズの中で国語の授業の中で再三取り上げられる茨木のり子の詩集。
8	1005-1005	茨木のり子詩集 人名詩集	茨木のり子 筑摩書房 1,890 円 (横浜市中央図書館)		生徒たちへの生き様のヒントとして使われる。自分は感受性が鈍いせいとか読んでもたいして感慨も湧かないのだがこうして作品中に取り込まれたり授業などで勉強すると何か良いような気がしてくる。てなわけで図書館に行った際に借りてきた。古い人ではあるが他の著書は結構借り出されていて人気が高い作家のようだ。
9	0205-0211	沈まぬ太陽(一) アフリカ編・上	山崎豊子 新潮社 1,680 円 (古 300 円)		映画「沈まぬ太陽」の2009年10月封切りとフジのTVドラマ「不毛地帯」放送をきっかけに読むことにした。文庫も新装版が出たがブックオフにて単行本をまとめ買い。内容は航空会社に勤務する男が主人公。労組の委員長を引き受け安全対策・処遇面で経営陣と対立し非情な人事差別を受けていく。正直いって何故「アフリカ篇」って？という気がしたが企業に属すると僻地への異動という懲罰的な異動がよく取り上げられる。
10	0212-0217	沈まぬ太陽(二) アフリカ編・下	山崎豊子 新潮社 1,680 円 (古 300 円)		主人公の恩地は10年にわたりアフリカの地をたらい回しにさせられながら耐えて行く。企業に属する自分としても考えさせられる事が多い。この本が書かれた当時、アフリカへの日本機の乗り入れる空路は無く未知の世界であったが著者の取材力により小説の中では雄大なアフリカの大地が生き生きと描かれ主人公の生き様に影響を与えるばかりでなく全編を支えているように思える。

11	0218-0223	沈まぬ太陽(三) 御巢鷹山編	山崎豊子 新潮社 1,680 円 (古 300 円)		<p>「御巢鷹山篇」は、この作品のなかでは独立して3巻目だけを読みればあの悲惨な事故が甦り、事故の被害に遭われた方々が実名で登場する。改めてニュースの裏側である事故がどれほど悲惨だったか、事故に遭遇した人ばかりでなく多くの人の人生を狂わせたかを思い知らされる。</p> <p>JR福知山線の脱線事故の後始末もそうだが企業倫理、遺族への配慮も真剣に考える必要があるし、それ以前に利益優先で安全対策がおろそかにされる体質がたまらない。</p>	
12	0224-0302	沈まぬ太陽(四) 会長室編・上	山崎豊子 新潮社 1,680 円 (古 300 円)		<p>「会長室編」は御巢鷹山墜落事故で失った信頼を建て直すため財界から民間人の会長を迎え入れる。会長が手始めに作ったのが自分のブレーンとなる人材を集め立案・実施を統括する会長室。しかしながら似た機能を持つ部署からの妨害にあう。一方、会社の内側に入ると放漫経営やら人事差別の実態に気が愕然とする。このあたり日本航空破綻劇を古くから予見しており特殊法人を民営化するのに断固として反対する族議員や、公共事業の利権をむさぼる政治家・官僚・企業の実態をみるにつけ、どうしようもなく救いの無い気持ちにさせられる。小説では最後に社員の告発によって、その腐敗の一端が暴かれるものの現実では捜査が進んだところで、うやむやにされてしまう事も多い。小説の結末もすっきりしないが事実に基づくためハッピーエンドには出来なかったようだ。</p>	
13	0303-0306	沈まぬ太陽(五) 会長室編・下	山崎豊子 新潮社 1,680 円 (古 300 円)		<p>東野圭吾は「容疑者Xの献身」以来、複雑なトリックの構築を捨て、一つの謎を核にし人物の内面を描く手法に切り替えた気がする。心臓手術中に亡くなった父への思いから心臓外科医を目指す夕紀。夕紀を指導する心臓外科医こそ、父の手術に失敗した西園教授であり、夕紀は教授と再婚しようとしている母の二人に疑惑を持つ。そんな中病院が脅迫事件にさらされその中で始まった心臓外科手術。西園教授と夕紀との確執、脅迫犯の苦悩がからまり一気に読める。</p>	
14	0307-0310	使命と魂のリミット	東野圭吾 角川文庫 740 円		<p>東野圭吾は「容疑者Xの献身」以来、複雑なトリックの構築を捨て、一つの謎を核にし人物の内面を描く手法に切り替えた気がする。心臓手術中に亡くなった父への思いから心臓外科医を目指す夕紀。夕紀を指導する心臓外科医こそ、父の手術に失敗した西園教授であり、夕紀は教授と再婚しようとしている母の二人に疑惑を持つ。そんな中病院が脅迫事件にさらされその中で始まった心臓外科手術。西園教授と夕紀との確執、脅迫犯の苦悩がからまり一気に読める。</p>	



15	0311-0311	yes お父さんに ラブソング	川上健一 小学館 1,575 円 (古 950 円)		<p>ビッグコミックに見開き2頁で連載されていた作品でお父さんを中心とした家族のちょっといいお話を集めたショート・ストーリー67編。「父親復権」とか「お父さんに改めて感謝」とかがテーマだがきれいごと過ぎる気がするし、ストーリーもかなり作り物っぽい。とはいうものの嫌いではない。題名のyesは1話目なので意味がすぐわかるがこれとて作り物の臭いがプンプンするがこれだけ書けるということの評価する。また自分の周りで「ちょっといい話」って何かなあと考えてしまった。</p>	
16	0312-0312	ちい散歩 地井さんの 絵手紙③	地井武男 実業之日本社 1,680 円		<p>主として都内エリアを散歩コースとしているため関東圏以外の人には見る機会がないと思う。かく言う自分も平日、家にいるから見られるのだが…。番組は地井武男が行き当たりばったりで眼にしたもの、興味を引いたものをカメラで追い、出会った人と気軽に会話を交わすところが人間味があって好きな街歩き番組。</p>	
17	0313-0313	ちい散歩6	文春文庫 火坂雅志 830 円 (横浜中央 図書館)		<p>散歩の終わりには地井武男がその日の散歩で一番印象に残ったものを絵葉書にしたための。コメントが前後したが「地井さんの絵手紙」はその絵葉書を纏めたもので一枚一枚にエッセイを添えている。「ちい散歩」は番組で歩いたコースの紹介本。</p>	
18	0314-0320	デパートへ行こう！	講談社 1,680 円 (古 500 円)		<p>デパートと言えば子供の頃は憧れの場所だった。装丁がレトロっぽく楽しそうな感じだったので購入。作品の中でも同じ想いを持つ父親とデパートをダサイという娘が出てくる。追われる者。追う者。自殺志願者。窃盗犯、家出人と多士済々の人物が登場しある日の閉店後の老舗デパートに侵入し巻き起こる大騒動。三谷幸喜の映画「有頂天ホテル」を連想する人も多いと思う。</p> <p>各々の人間模様と悲喜劇が、サスペンスを織り込みながら進み、歳月と共に価値観が変わっていく“デパート”への拘りを感じさせる作品。ただ残念なのは展開が読めちゃうところが盛り上がり欠けるところか。</p>	

19	0321-0327	たいがいにせえ	光文社時代小説文庫 岩井三四二 600 円		<p>「いい人はいつの時代も、あたふた。」 「あなたによく似た人物が、歴史のあちこちで四苦八苦。」とのキャッチコピーがついた歴史短編集。歴史の一コマを捉え、そこに歴史の表舞台に登場しない人々の人生を描き、滑稽さとほろ苦さを交えた世界を見せてくれる作品。非情に読みやすく、サラリーマン社会に会い通じるものがあり共感できる。</p> <p>収録作品:「祇園祭に連れてって」「一刻は千年」「太平寺殿のふしぎなる御くわだて」「信長の逃げ道」「バテレン船は沖を漕ぐ」「あまのかけ橋ふみならし」「迷惑太閤記」</p>	
20	0328-0403	作家の値段	光文社文庫 出久根達郎 780 円		<p>直木賞作家にして、元・古本屋店主という出久根氏ならではの著書。タイトルを見た時は期待していなかったが思いの他面白かった。</p> <p>本とは文学作品であると同時に、市場に販売される商品であるという特性に言及し、古本独自の価値体系について解説していて本好きにとって興味深い話が多い。思うにブックオフと古書店の違いは本に対する愛情の違いであると思う。古書店の店主は研究者的なところもあり学究的なものとは違った面をよく見ている。本書には作家や著書についてのウンチクも豊富で楽しめる。</p> <p>取上げられた作家は漱石、鷗外などの文豪、近代の作家では司馬遼太郎から寺山修司、三島由紀夫など物故者ばかりだ。家の本を将来高く売りたいならば、カバーや帯の保存にも気を付けることだ。</p>	
21	0404-0413	難儀でござる	光文社時代小説文庫 岩井三四二 620 円		<p>戦国時代の難儀に立ち向かう人々を描いた短編集。主人公はあくまで歴史に埋もれた無名の人々。日々の暮らしのための薪を守るための難儀、殿様に徴集された農民たちの難儀、亡き天皇の法要資金を集めるための難儀、家を守るための難儀ばかり。登場人物は普通の人々なので失敗もすればやり過ぎもあり、歯の立たない難儀もある。史実に近いものなので解決できないものは読後感がすっきりしない。収録作品「しょんべん小僧竹千代」「信長を口説く七つの方法」「守ってあげたい」「山を返せ」「羽根をください」「一句、言うてみい」「蛍と呼ぶな」</p>	